

明治九年〜明治十七年

明治九年

三条智恵君様御入塾あらせられる。

*九年(十年)

(下段は、愛四郎のものと思しき日記)

明治十二年

(明治十一年)

二月一日

(二月) 一日 晴。

三条公永田町官邸に御引移り二付、参殿す。御
新築拝見して、実に宏大なるに驚人たり。

午後、三条公官邸へ御引移二付、御祝二行。帰
路、福田氏え過、政治郎卜松田楼え登ル。療治
ス。

(二月) 二日 晴。

青地え行。午後七時、原田氏来ル。共ニ遠藤氏
ヲ訪。談尽、十時帰宅。療治ス。

(二月) 三日 晴。後三時雨降。

前八時、濃州え電信掛ル。後三時到着。原田二
郎、(空白) 兩人来。濃州産物大根ノ糟積、
鮎ノ子ウルカ送ル。宇津木繁入塾。

*糟積(糟漬)

(二月) 四日 晴。

休日。区務所え行向、廻状順達ノ事談、原田氏
え行、銀行課ノ談教時。帰路、混堂ニ至ル。渡
辺楽之助来。療治ス。

(二月) 五日 曇。後五時より雪降。

認印成。下総屋升吉より小判唐紙十本送ル。遠
藤氏え書状出ス。療治ス。

(二月) 六日

(二月) 六日 晴。

山内侯御使松尾平次氏来る。今般、容堂公の二

休日。山内豊範公ノ家来松尾平次来ル。八重子

女八重子入塾願出たり。承諾ス。

入校の儀申入。濃州より来状。福田新兵衛方へ行。帰路、鈴木義宗ヲ訪フ。談数時、又原田氏ヲ訪、不在。入混堂、療治ス。

(二月) 七日 晴。

木下悴来ル。第四方面第一署え左之書差出ス。

盗難御届

明治十一年二月六日午後六時、当家表門前ニ建置有之候常夜灯えランプ点灯仕置、翌七日午前六時、右ランプ取入ニ行候処、見当リ不申、全ク被盜取候ニ付、左之目録之通り、此段御訴申上候也。

第四大区二小区三崎町老丁目老番地

華族 姉小路公義家令

跡見重敬代理

明治十一年二月七日

跡見愛二郎印

一 被盜品目録

一 ランプ 但シ通常ノ形ナリ 壱ツ

此代価廿錢程

午後、山内八重子様か荷物来。安五郎、福田政治郎来ル。両姉、竹、写真師へ行。原田氏来ル。談後、十時、原田氏え至り、履歷出ス。療治ス。

(二月) 八日 晴。

原新治来ル。区務所より、明九日午前第九時東京府え出頭可致旨申来候事。原田氏へ行、諸事談ス。療治ス。

(二月) 九日 晴。

午前第九時、東京府え出頭、添鑑渡ス。夫より大蔵省え出頭、御用掛申付ラル。銀行課へ行暫シテ帰ル。三条公へ行、帰路、福田え。河合ニ於テ茶求ル。内ニテ酒宴在リ。療治ス。

(二月) 十日 曇。後二時より降雪。

原田へ行、同車ニテ町野へ行、同氏ト三人連ニ

夏日

予、六人女弟子を携て、清国公使館ニ招待せられて、何如璋其外、詩書画を席上に揮ひ、詩の贈答ありて、[彤管生暉帖](#)新刊成る。

*[彤管生暉帖](#)（[彤管生輝帖](#)）

テ岩崎氏え行、不在。夫より一人ニテ郷氏、巖谷氏え行、不在。再、町野え行、又三人連ニテ四ッ谷（空白）ニテ酒宴。妓二名、町野ノ妾来ル。後四時半、原田氏ト同車ニテ錦町え過ル。夫より同路鈴木町山崎忠門氏ヲ訪。